



書道家
武田双龍



先月の「イカす人・綺麗な人」珠玉の言葉
宇梶剛士

×



第九筆

やさしさ



宇梶剛士

やさしい人がいちばん偉いと思ってます。いくら地位があっても財力があっても人に好かれたり、人にやさしくされないとつまらないじゃないですか。やさしくなくてもいいと思うんです。僕自身、人にやさしいとは思わない。でも、やさしくなろうとすることが大事。その気持ちは人に伝わるから。人からやさしさを受けられるようになる。ガンジーのようにやさしくはなれない。でも、やさしくあろうとすることは、誰でもずっと続けられるはずですよ。

武田双龍

決して外に出さない、厳しくも繊細なやさしさを想いました。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室「ふたばの街」を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。
<http://so-ryu.com/>